エコアクション21
認証番号0011215

フジプラテック株式会社

2024　年度　環境経営レポート

2024年1月1日から2024年12月31日

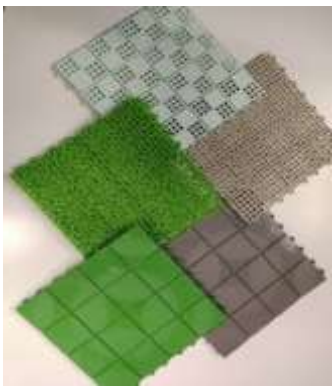
フジプラテック株式会社
FUJIPURATEC CO.,LTD.

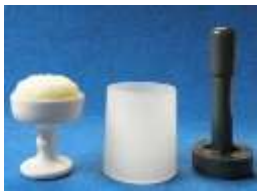
発行日：　2025年3月8日

目　　次

項　　目	ページ
ごあいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業･製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割･責任･権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	6～9
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟等の有無	10
緊急事態対応訓練	10
代表者による全体の評価と見直し･指示	11
これまでの環境活動の紹介	11

◆◆自社商品◆◆





□ごあいさつ

大阪府八尾市のフジプラテック株式会社は、
射出成形 （成型）によるプラスチック製品の成形、試作およびプラスチック射出成形（成型）
金型の設計、製作まで一貫して行っております
試作、小ロット、量産品、アッセンブリーまでお客様のニーズに合わせて対応いたします
また他社金型のメンテナンスおよび不良品に対する適切なアドバイスや金型による品質改善を
提案いたしております

『貴方の想いを形にしたい。。。。。』
お客様の立場に立って同じ目線で共に考えサポートさせて頂く事が私共の日々の気持ちでありま

環境経営方針

＜環境経営理念＞

フジプラテック株式会社は、昨今でますます深刻化の一途を辿る地球温暖化や地下資源の枯渇といった環境問題が、経営において重要課題であるという認識の下に、製造を中心とした事業活動において、環境負荷の低減を図る為に地域社会と共存し、全社一丸となって安全を基盤とした環境経営の継続的改善を推進します。

＜環境保全への行動指針＞

１． 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。

２． 以下の事項について環境目標・活動計画を定め、重点的に取り組みます

１． **電力及び自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減と同時に必要なだけの環境配慮を行う。**
またそれだけではなく、自分たちに出来ることは何かということまでしっかり把握し、現状に対する課題を認識して始めることが、何より重要である。
２． 廃棄ロスをなくす等廃棄物の発生抑制につとめます。
３． 節水活動に努め、水資源使用の節減に努めます。
４． 化学物質の適正管理に努めます。
５． **環境に配慮した製品・資材・サービスの購入及び当社の製品企画・開発においても、**これを推進いたします。
６． 顧客ニーズに対応しつつ、ロスの出ない商品の提案に努める。
７． 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。

３． この環境方針は全従業員に周知・徹底するとともに、
これに沿った環境活動が出来る様、教育を進めます。

制定日 ： 2020年2月1日
改定日 ： 2022年4月23日

代表取締役社長 藤木廣志

（1）名称及び代表者名
フジプラテック株式会社
代表取締役社長　藤木廣志

（2）所在地
本　社　　大阪府八尾市八尾木1丁目224番地

（3）環境管理責任者氏名
責任者　藤木廣志　　大阪府八尾市志紀町南4-87　　TEL：090-1597-3003

（4）事業内容
プラスチック製品の製造
主要製品：医療器具、娯楽部品、照明器具、スポーツ用品、床マット類

（5）事業の規模
製品出荷額　9，631万
主要製品生産量　96．5トン

	本社	合計
従業員	3	3
延べ床面積	218	218

（6）事業年度　1月1日～12月31日

□認証・登録の対象組織・活動

登録事業者名：　フジプラテック株式会社
対象事業所：　本社
活動：　プラスチック製品の製造

□事業や製品（商品）の紹介

◆主要設備◆

NEX-4000-36E（180T）

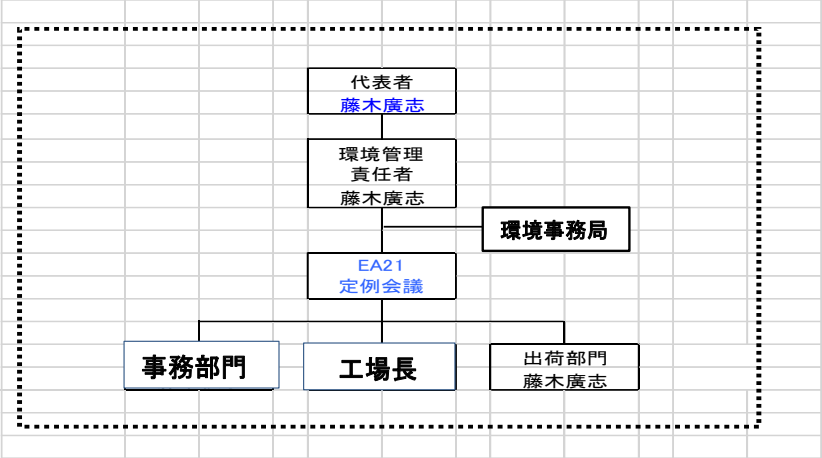
FN6000（280T）

除湿熱風乾燥機
マルチジェット　（ＭＪ－３　１５０Ｊ）

ＫＭ３６５ＢⅡ（３６５Ｔ）

Ｓｉ４５０－６Ｓ（４５０Ｔ）

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任
	・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備
	・環境管理責任者を任命
	・環境経営方針の策定・見直し
	・環境経営目標・環境経営計画書を承認
	・代表者による全体の評価と見直し、指示
	・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理
	・環境関連法規等の取りまとめ表を承認
	・環境経営目標・環境経営計画書を確認
	・環境活動の取組結果を代表者へ報告
	・環境経営レポートの確認
環境事務局	
	・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施
	・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成
	・環境活動の実績集計
	・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理
	・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施
	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
	・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備え付けと地域事務局への送付）
EA21定例会議	・環境経営計画の審議
	・環境活動実績の確認・評価
部門長	・自部門における環境経営方針の周知
	・自部門の従業員に対する教育訓練の実施
	・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告
	・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施
	・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成
	・試行・訓練を実施、記録の作成
	・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚
	・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項　目	単位	2022年	2023年	2024年
二酸化炭素総排出量	kg-CO_2	83,469	82,289	78,902
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	179	163	161
産業廃棄物排出量	kg	969	919	846
水使用量	m^3	191	208	166

※二酸化炭素排出係数　0.418　kg-CO2/kWh　関西電力会社の2022年の調整後排出係数
※二酸化炭素総排出量にはＬＰガス・灯油使用に伴う二酸化炭素排出量を含む

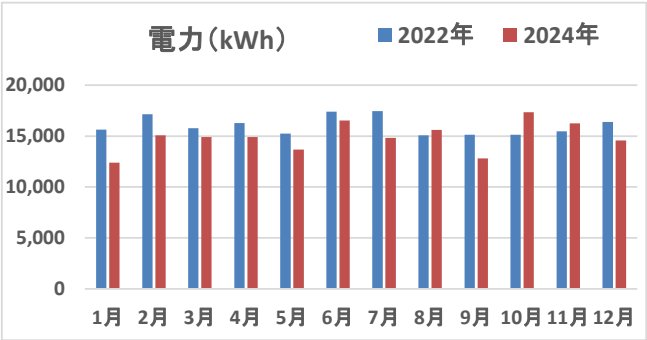
□主な環境負荷の実績

項　目 ＼ 年　度		基準値（基準年）	2024年（目標）	2024年（実績）	評価	2025年（目標）	2026年（目標）
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2	80,317	80,157	74,771	○	79,996	79,836
	基準年度比	2022年	99.8%	93%		99.6%	99.4%
原単位	kWh/万円	19.024	18.986	18.573	○	18.948	18.910
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2	7,357	7,343	3,351		7,328	7,313
	基準年度比	2022年	99.8%	46%	○	99.6%	99.4%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	142,596	131,279	82,918	○	80,015	79,854
一般廃棄物の削減	kg	179	179	161		178	178
	基準年度比	2022年	99.8%	90%	○	99.6%	99.4%
廃プラの削減	kg	969	967	846		965	963
	基準年度比	2022年	99.8%	87%	○	99.6%	99.4%
水道水の削減	m^3	191	191	166		190	190
	基準年度比	2022年	99.8%	87%	○	99.6%	99.4%
環境に配慮した生産活動（不良品の削減）	kg	1,061	1,059	911		1,057	1,055
	基準年度比	2022年	99.8%	86%	○	99.6%	99.4%

□環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

数値目標：○達成　×未達成
活動：◎よくできた　○まあまあできた　△あまりできなかった　×全くできなかった

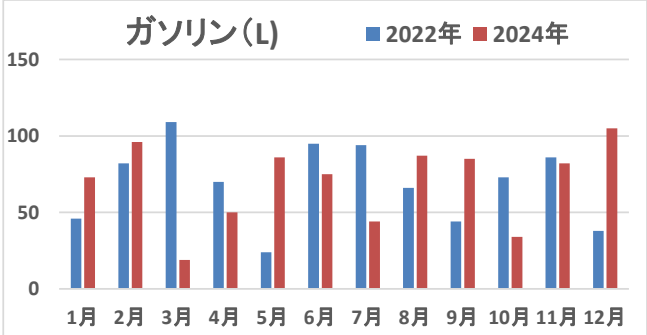
電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	電力によるCO2削減は基準年度の93%と昨年度同様引き続き継続できている。 **2025年度CO2目標値79，996Kg－CO2として継続的に取組みを推進する。**
・空調温度の適正化（冷房28℃　暖房20℃）	○	
・不要照明の消灯	○	
・機械の待機時間の短縮	○	
・空気圧縮機のエア洩れ点検	○	
・作業改善・業務改善の推進（部門別活動計画書で運用）	○	



取組紹介欄
●空調温度の適正化（冷房28℃　暖房20℃）
●不要照明の消灯
●機械の待機時間の短縮
（終業1時間前に乾燥機を切る）
●空気圧縮機のエア洩れ点検
（始業時に確認）
●作業改善・業務改善の推進
●最大需要電力を下げる
（ヒーターを時間差をつけてONする）

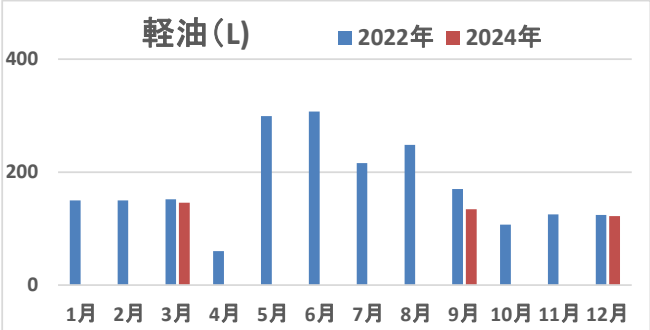
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2022年	15,627	17,149	15,775	16,271	15,243	17,398	17,447	15,065	15,140	15,140	15,451	16,390
2024年	12,379	15,067	14,911	14,907	13,682	16,538	14,828	15,598	12,807	17,337	16,247	14,578

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	○アイドリングストップ ○効率的なルートで配送 ○エリア別営業活動の見直し ○急加速・急停止の禁止については良好に保たれた一年であった。自動車CO2は基準年度の46%以前高い水準を継続維持している。コロナの影響も少なくなり、営業・打ち合わせ等で外出することが多くなりガソリンの使用量は前年度より増えている。　**2025年度CO2目標値7，328Kg－CO2として継続的に取組みを推進する。**
・アイドリングストップ	○	
・効率的なルートで配送	○	
・エリア別営業活動の見直し	○	



取組紹介欄
※ガソリン・軽油の合計
●アイドリングストップ
（トラック積込時都度フォークリフトのエンジンを切る）
●効率的なルートで配送
（隣接地域をまとめて配送）
●エリア別営業活動の見直し
●急加速・急停止の禁止

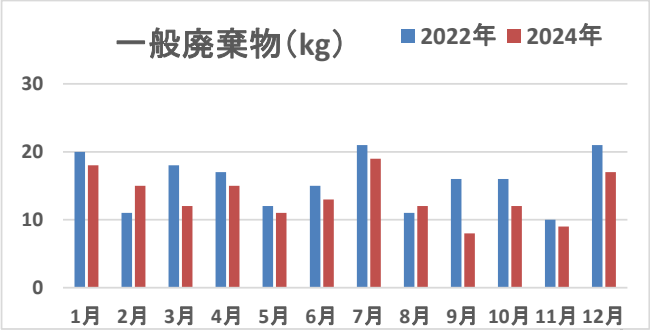
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2022年	46	82	109	70	24	95	94	66	44	73	86	38
2024年	73	96	19	50	86	75	44	87	85	34	82	105



取組紹介欄
※ガソリン・軽油の合計
●アイドリングストップ
（トラック積込時都度フォークリフトのエンジンを切る）
●効率的なルートで配送
（隣接地域をまとめて配送）
●エリア別営業活動の見直し
●急加速・急停止の禁止

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2022年	150	150	152	60	299	307	216	248	170	107	125	124
2024年	0	0	146	0	0	0	0	0	134	0	0	122

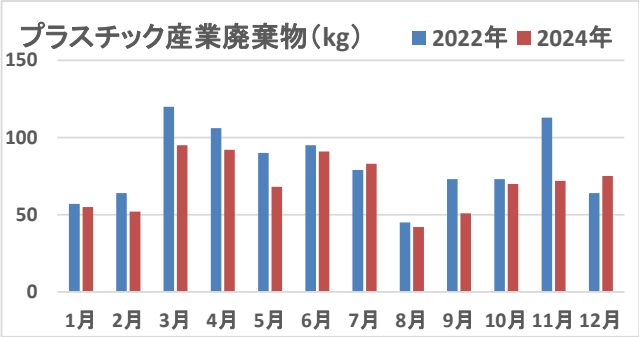
一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	○分別の徹底　○帳票見直しによる印刷物の削減　○不要な資料等をメモ替わりに再利用　長年に渡り続けているために考えなくても行動できるようになっている。不要印刷物の裏面を使用し、当社商品ラベルに使用。紙の廃棄減少に繋がった。 **2025年度　178Kgとして継続的に取組みを推進する。**
・分別の徹底	○	
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	○	
・帳票見直しによる印刷物の削減	○	
・梱包材の再利用	○	



取組紹介欄
●シュレッダー廃紙のリサイク
●帳票見直しによる印刷物の削減
（メールでのやり取りに移行）
●梱包材の再利用
（資材の指定のない場合・少量の場合等廃棄するものを利用）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2022年	20	11	18	17	12	15	21	11	16	16	10	21
2024年	18	15	12	15	11	13	19	12	8	12	9	17

廃プラの削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	◎	作業ミスによる廃棄量の削減については、条件・作業工程見直しと共に担当者従事として、不良品の出にくい状況を作り上げた。チラーによる製品の安定も大きい。**2025年度　965Kgとして継続**
・作業ミスによる廃棄量の削減	○	
・テスト品の原料・製品の持ち帰り	○	
・リサイクル業者の開拓	○	

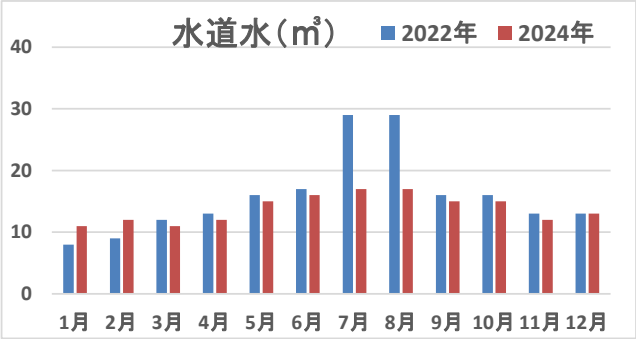


取組紹介欄

●作業ミスによる廃棄量の削減
　条件・作業工程の見直しに力を入れる。
●テスト品の原料・製品の持ち帰り
　テストのみの仕事を減らす。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2022年	57	64	120	106	90	95	79	45	73	73	113	64
2024年	55	52	95	92	68	91	83	42	51	70	72	75

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	○節水シールの貼り付けとポスター掲示　○こまめな節水については　日々の中で意識が出来ている。 冷風扇を導入したことで、CO2削減にはかなり貢献している。冬季凍結の防止の為、クーリングタワー周辺にシート及び断熱材で囲み対策をとる。2025年度190㎥として継続的に取組みを推進する。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
・節水弁取り付け	○	
0		
・こまめな節水	○	



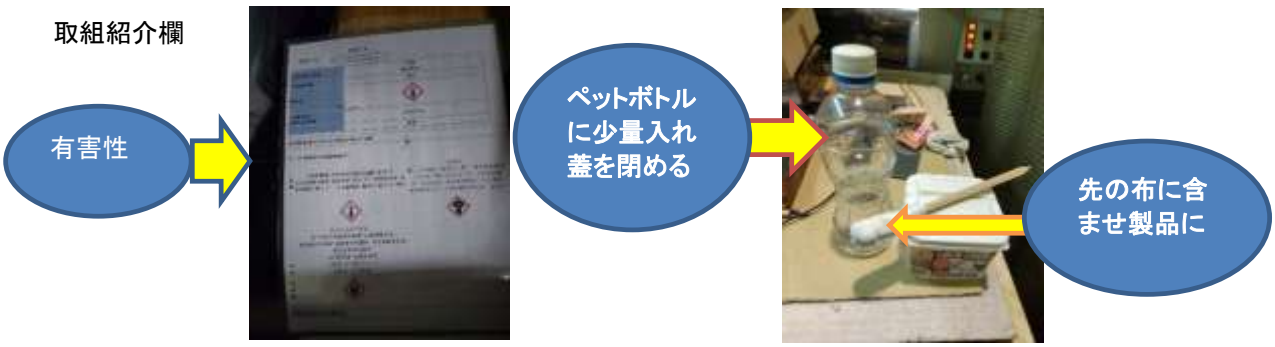
取組紹介欄

一部機械が増えたこと、福利厚生の一環として
昼の食事作りの補助をしている為、減らすことが困難

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2022年	8	9	12	13	16	17	29	29	16	16	13	13
2024年	11	12	11	12	15	16	17	17	15	15	12	13

洗浄剤使用量削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
		蒸発を避けるため当日使用する分だけを、ペットボトルに少量を移して保管。ウエスを小さくして含む量を減らした。使用量が少ないので、適正管理とする。
・有害性物質の表示の徹底	◯	
・容器の蓋の徹底	◯	
・作業ミスによる使用量増加の抑制	◯	
・代替物質の検討	×	

取組紹介欄



環境に配慮した生産活動（不良品の削減）	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	◯チラー導入により金型温度の安定化に伴い、四季に関係なく安定し条件が安定不良率が減少。 不良品によるクレームも改善された。 2025年度　911Kgとして継続的に取組みを推進する。
・テスト品の原料・製品の持ち帰り	◯	
・クレーム率の低減	◯	
・原料ロスの低減	◯	

取組紹介欄

●テスト品の原料・製品の持ち帰り
（テスト持ち込み会社に受ける時に了承して頂く）
●原料ロスの低減
（同種・同色樹脂で成形できるように予定を立てる）
（立ち上げ時金型をよく拭き、油やごみによる不良を減らす。）
●クレーム率の低減
（引き継ぎ時に正確に不良限度を伝達する。）

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	産業廃棄物（廃プラ、廃油等）水銀廃棄物の適正処理
騒音規制法	**空気圧縮機･射出成形機･粉砕機**
振動規制法	空気圧縮機・射出成形機
自動車ＮＯｘ・ＰＭ法	社用車（２ｔトラック１台）
消防法（危険物）	危険物の保管
フロン排出抑制法	スポットクーラー・エアードライヤー（簡易点検３カ月に１回・廃フロンの適正処理
下水道法	除害施設
顧客要求事項	品質管理

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去３年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情･要望等

地域住民からの苦情･要望は無

□緊急事態対応の試行･訓練

緊急事態の想定:　火災の発生

■実施日：　2024/11/13　　■実施場所　八尾市文化会館プリズムホール

■見　学：　藤木　廣志　藤木　綾子　八尾市民

■実施内容：　☑通報訓練　☑消火訓練　☑避難訓練

訓練想定
プリズムホール内においてコンサート中に地震が発生し、出火。延焼拡大により、逃げ遅れ2名が発生したとの想定。
訓練内容：八尾市文化会館プリズムホール職員による避難誘導、通報、初期消火訓練・消防隊による一斉放水、救出訓練

■評価：　手順書の変更の必要性　☐ あり　☑ なし

日頃は出来ない貴重な体験ができ、有意義な時間になった。

■実施状況の様子

避難訓練

MF車による救出訓練

緊急事態の想定:　油流出事故の発生

■実施日：　2024/1/12　　■実施場所　工場内

■参加者：　宇都良平　藤木綾子　藤木廣志　　■実施内容：
・流出事故対応、

■評価：　手順書の変更の必要性☐ あり　☑ なし

１号機油圧ホースからの油漏れ

■実施状況の様子

① 油漏れ個所を特定する。
② 油吸収マット・原料袋・ウエスにより
　廻りを囲み被害を外に出さないようにする。
③ 救えるものは廃油として一斗缶に入れる。
　残りのものはウエスで綺麗にそうじする。
④ 油取り洗剤でブラッシング清掃する。

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日： 2025年3月4日

今年度売り上げは前年度の6%UPを果たしている。効率の良い成形予定と不良率の削減・出来る限りのアクションがとれたことにより、少人数でまとまりのある成果がえられた。
①電力によるCO2削減は基準年度の引き上げにより93%と改善がみられた基準年度を引き上げたことにより前年度以上にこまかく1年間確実に継続が出来ている。 日々の意識があるからだと思う。引き続き注意をはらい少しでも下げたい。
②自動車燃料によるCO2削減は基準年度の46%と大幅な改善がみられた。前年度以上に同一方向での混載納入・荷物の出し入れのスムーズ化が定着してきた。リフトのガソリン月50リットルまでを目標にあげたことで、使用量を気にかけるようになったことも効果があった。
③一般廃棄物も新聞紙と共に段ボールコピー用紙等は廃品回収に出すように整理することに心掛けた。来年度は不必要なFAXが出ないように、PCに取り込むようにした。
④廃プラ・不良品の削減は得意先に出来る限り数量をまとめて頂き、ロスを減らした。今年度も製品別に担当者を決めたことで不良品クレームが減少し、廃プラ・不良品の削減にもつながった。

環境経営方針	☑ 変更なし	□ 変更あり	
環境経営目標・計画	☑ 変更なし	□ 変更あり	実績を踏まえて見直すこと
実施体制他	☑ 変更なし	□ 変更あり	

□これまでの環境活動の紹介

令和6年度クリーン・キャンペーンを実施されました！！

環境美化について市民や事業者の意識を一層高め、散乱ごみや不法屋外広告物等のない
きれいなまちづくりを推進するため、八尾をきれいにする運動推進本部が主催となり、
9月1日（日）～31日（火）の期間に清掃するキャンペーンが実施されました。
当社も微力ながらその時期に合わせ9月8日（八尾の日）工場周辺の道路、駐車場の掃除を行ないました。

□編集後記

益々温暖化が進み、地球環境が破壊されている様が、毎年拡大している。私たち人間がすべての生き物の生命を脅かしていることに、気づくべきだ。CO2削減が急務で戦争や国ごとの損得を考えている場合ではない。同じ地球に住む同じ人間として地球規模で考えることは理想論ではあるが、未来のある子供たちに美しい地球と穏やか